

No.51
2018
10/12



はちおうじ

JR東労組
八王子地本
八王子地本
ホームページ
「東労組八王子」で検索



劇団文化座公演

太陽の棘を観に行こう!

シアターXカイ提携公演

希望は
希望日を
希望日まで
希望員まで
希望員
※15日はすでに満員

太陽の棘

原作||原田マハ「太陽の棘」(文春文庫)

脚本||杉浦久幸

演出||田村孝裕

文化座

東京・両国 シアターXカイ

2018年11月8日(木)~18日(日)

2018年11月8日(木)~18日(日)

東京・両国 シアターXカイ

	11月 8日(木)	9日(金)	10日(土)	11日(日)	12日(月)	13日(火)	14日(水)	15日(木)	16日(金)	17日(土)	18日(日)
14:00 開演		●	●	★	●		●	●	●	●	●
19:00 開演	●							●	●	●	●

満員

◇開場は開演時間の30分前

★・・・公演終了後アフタートークあり 11日(田村孝裕、佐々木愛、井田雄大) 15日(田村孝裕、沖永正志、藤原章寛)

劇団文化座は、沖縄を舞台に、これまで9本の作品を上演してきた。しかし、同じ日本人として生きながら、この近くで遠い琉球列島の歴史や文芸や、そしてそこに生活(くら)す人々の心に、ほんの少しでも寄り添えたと言えるだろうか!

―数年前、一人のアメリカ人(老精神科医)が、1枚の絵を持って沖縄を再訪した。テレビでも放映された実在の人物のこの行動から、今最も注目される女流作家・原田マハ氏が、70年前のこの絵画の秘密をひもといてゆく。1948年、米国民政府の支配する沖縄に新米の精神科医として赴任したエドは、ある日偶然にも森の中に「ニシムイ・アートヴィレッツ」と書かれた看板と、そこに住む目をキラキラ輝かせた男たち(タイラ・ヒガ・ヤマシロ・ガナハ・ナカザトたち)と出逢う……

一人のアメリカ人青年が遭遇した恐るべき才能に満ち溢れた沖縄人芸術家たち。そして彼らとの交流……。はたして、彼らの間に、真の友情は成り立つのであろうか……。

